

What's “NEW”?

ここで出会い 生まれる
まだ見ぬ世界 いくつもの未来

新しいはわたしを加速する。



多様性に学ぶ、グローバル

文理融合の「ワンキャンパス」で世界を広げる

全学部学科が一堂に集うワンキャンパスでは、さまざまな専門分野を志す学生が、共通の教育方針のもと「文理融合」の環境下で専門分野を相互に深め、新たな価値観で社会の課題解決に取り組んでいくことが期待されています。また、時代の変化とともに、世界と日本の距離は確実に近くなっており、日本にいながらにしてグローバルなコミュニケーションが必要となりつつあります。外国に行かなくても、あなたのすぐそばに「グローバル」な環境は存在し、国際感覚は誰しもが身につけるべき教養となっていく今後を見据え、英語が話せるという言語理解だけに留まらない質の高い国際教育で、グローバルに活躍できる人材を育成していきます。社会の変容に柔軟に対応し、多様性を受け入れ、広い世界に視野を向けた先の出会いが、知的創造の糧となる。新しい時代を生きる学生の、可能性が広がる「ワンキャンパスライフ」が始まっています。



TSUCHITOI CAMPUS 土樋キャンパス



9学部15学科が一堂に集う都市

型ワンキャンパスがめざすもの



地域と共創する、社会連携

1万1千人が一堂に集う「ワンキャンパス」が実現する未来

東北学院大学は、東北における最大の私立総合大学として、138年の歴史の中で約20万人の卒業生に社会に輩出してきました。経営者も非常に多く、その数は全国で35位、宮城県では1位(※)。活躍する卒業生がハブとなり、地域や企業と連携して社会の課題解決をめざす社会連携教育の充実を担ってきました。2023年度に仙台市中心部に五橋キャンパスが開学し、土樋キャンパスと一体化したワンキャンパス体制が整備された現在は、同キャンパス内「未来の扉センター」が主体となり、その取り組みはさらに広がり、加速しています。都市機能と交通利便に恵まれた立地は、学生の交通アクセス・情報アクセスの多様化につながり、教育研究を活性化。企業や自治体、地域と連携して社会の課題解決に実践ベースで取り組むに当たり、ワンキャンパスは非常に優れた環境であると言えるでしょう。また、広く市民を受け入れるオープンスペースを多く備えた五橋キャンパスは、人と人をつなぐ新たな街の交流拠点としても、機能し始めています。

※「大学ランキング2024」(朝日新聞出版)



市民に開かれた新しい都市型キャンパス

五橋キャンパスは、校門や塀がなく、地域の方々にもご利用いただけるホールやカフェテリアなどが設けられています。街とつながるキャンパスで、学生が他学部の友人や市民の方々とさまざまな交流を重ねる中で、現代社会を生き抜くための広い視野を養い、自身や地域の新たな可能性を開くことを期待しています。



DIVERSITY SESSION

さまざまなルーツを持つ9学部の学生が集い、交流する中で
他者を受け入れ、自らを知るためのトークセッション

活気に満ちた ワンキャンパスに魅力

齋藤さん 工学部は今までキャンパスが離れていた
ので、みんなと一緒になれたことがまずう
れしい。学生が多くて活気があります
ね。設備も良く、これから入ってくる新入生
がうらやましいくらい。

加藤さん 五橋キャンパスは建物が開放的で、自然
光が入り込む感じが気持ちいい。土曜キャン
パスは歴史的な情緒ある建物だけど、内
部は新しく改装されているよね。

菊池さん 私は自習スペースをよく使います。電源を
自由に使えるのも大助かり。

原田さん 五橋キャンパスは地下鉄南北線五橋駅の
出口に直結で、JR仙台駅も徒歩圏内だし、
アクセスがとてもいい。ところで新設の学
部ってどんな感じ？

山田さん 先輩がいなくて履修登録もテスト勉強
もお手本がなくて大変ですが、逆に同期が
団結して協力し合っている実感がありま
す。楽しいです。

中島さん 高校時代から地域づくりに関心があり、地
域コミュニティ学科を志望。フィールド
ワークを多く体験できるのが魅力です。

文理融合が生む 思考と発想の化学反応

齋藤さん 他学部・他学科の開放科目を履修できるシ
ステムは勉強になるよね。グループワーク
で、学年も学科も文理も超えた学生同士
のディスカッションが新鮮でした。

菊池さん 同じテーマでも学科によって思考回路が
違うことが多いし、他学部の人と一緒に学
ぶのは刺激的。

相澤さん 僕は大学祭実行委員。以前はキャンパス
が遠い工学部は別開催だったけど、今回か
ら合同開催に。実行委員会も、これまで文
系学生だけだったところに理系学生が入
ると、欠けていたピースがハマったみたい
に充実しました。ワンキャンパスにならな
ければ出会えなかった仲間です。

利便性、多様な文化、学びの幅 仙台で学ぶ魅力

加藤さん 僕は新潟県出身ですが、受験に来たとき
「仙台で暮らしたい」と直感しました。思っ
ていた以上に都会で、公共交通機関が発
達していて移動もしやすい。あとラーメン
店が多いのがいい(笑)。

原田さん 僕も大学は暮らしやすさを重視して東北
学院大学を選びました。大学院受験のため
大阪や名古屋にも行ったけれど、その
中でも仙台は暮らしやすいと感じたの
で、改めて大学は学院大学に決めて良
かったと思っています。

伊藤さん 来てみて分かったのは、他大学も含めて
仙台に暮らす外国人留学生が多いこと。
さまざまな国の人と知り合ううちに、世界
とつながる仕事がしたいと思うようにな
りました。

佐々木さん 街の魅力でいえば、野球、サッカー、バス
ケットと地元を本拠地にするプロスポーツが
多いのが特徴かも。

原田さん 街の規模が大きいから商店街にも個性
があって、歩いているだけでも楽しいね。

菊池さん おしゃれなカフェが多いのもうれしい！

加藤さん 市内に複数のアウトレットモールがあって
便利。

中島さん 個性的な古着屋さんもたくさんあり
ます！

齋藤さん では最後、東北学院大学をめざす高校生
にメッセージを……誰が言う？

相澤さん 大事なことは「入った大学で何をす
るか」。その意味で学院大は学部学科が豊
富、学生数も先生の数も多く、課外活動
も盛んで、大学の周りには何でもある、素
材は多種多様に揃っているからチャレン
ジしがいがある。あとはキミ次第だッ！

全員 (拍手)



佐々木 琉之介さん
国際学部国際教養学科1年

伊藤 千夏さん
情報学部データサイエンス学科1年

加藤 英二郎さん
法学部法律学科3年

原田 高弘さん
経済学部経済学科4年

齋藤 拓望さん
工学部機械知能工学科3年

中島 幸さん
地域総合学部地域コミュニティ学科1年

菊池 彩夏さん
経営学部経営学科4年

山田 瀬奈さん
人間科学部心理行動科学科1年

相澤 伸治さん
文学部歴史学科3年



本編を読む

TGU IDENTITY

スクールモットー LIFE LIGHT LOVEのもと、仙台・東北の地で実践されてきた地域連携・社会貢献



人と地域社会が共に育つことをめざして

地域や企業とつながる拠点 未来の扉センター

地域に開かれた五橋キャンパスを象徴する施設が、シュネーダー記念館1階にある「未来の扉センター」です。本学が推進する地域連携・社会貢献活動の拠点である「未来の扉センター」は、学生はもちろん、誰でも自由に利用することができます。地域や地元企業との連携によって生まれた新たな学びやイノベーションが、学生そして地域社会の明るい未来につながってほしいという、願いを込めて名付けられました。

地域の現実を知り、地域の未来を描く

地域や商店街が学びのフィールド 「課題探究」科目

2023年度よりTGベーシックの中に「課題探究」科目(全6科目)が開設されました。「地域ボランティア活動の探究」(1年次)ではさまざまなボランティア活動の意義を学び、マネジメント、コーディネート、地域における役割などを理解した上で、活動を進めるために必要な知識を修得。「地域課題の探究」(2年次)では、地域社会の諸問題や現状から将来像を描き、課題の発見・解決に向けたアプローチ方法を学びます。



学生自らの言葉で地域に情報発信

大学とキャンパス周辺の魅力を伝える 「RADIO COLLEGE」放送中

Date fm(エフエム仙台)との協働により、2023年4月からラジオ番組「RADIO COLLEGE」(通称:レディ・カレ)を放送しています。レディ・カレには、学生を中心とする本学関係者が出演し、大学やキャンパス周辺の魅力を発信しています。2023年12月の放送では、世界大会で見事敢闘賞を受賞した少林寺拳法部に所属する2名が出演。快拳に至るまでの道のりなどについて熱く語りました。

- 放送局: Date fm/エフエム仙台(周波数77.1MHz)
- 放送日時: 毎週水曜日 12時30分~12時55分



助け合い、支え合い、地域の力となる

ボランティアを通じて気付き、学び、成長する 総合ボランティアステーション

東北学院大学は東日本大震災の発災直後から10年以上にわたり、活発なボランティア活動を続け、被災地の復旧・復興に寄与してきました。震災を契機に発足した「災害ボランティアステーション」を、2023年10月に「総合ボランティアステーション」に改組し、災害ボランティアに留まらない、幅広いボランティアニーズに対応できる組織を立ち上げました。ボランティア活動に参加したい、ボランティアを通じて誰かの役に立ちたいという想いを持った学生を全面的にバックアップしていきます。



学生インタビュー

熱い想いの東北学院生と ボランティアをつなぎます!

総合ボランティアステーション 運営チーム代表
経済学部 共生社会経済学科 3年 瀬戸 信輝 さん
(宮城県/仙台西高等学校出身)

「総合ボランティアステーション」はボランティアチームの取りまとめや、活動したい学生へ活動先の紹介などを行います。ボランティアの魅力は、楽しみながら人や地域の役に立ち、アイデアや発想次第で無限の可能性があること。「何かやりたい」という熱を思い切りぶつけてください。



「子どもたちの力になりたい」 1年有志でチームを設立

ボランティアチーム「てらいいく」
経済学部 経済学科 1年 佐藤 萌乃 さん
(宮城県/尚絅学院高等学校出身)

1年生12人でチームを立ち上げ、地域の児童館で小学生にペン字と宿題のサポートを行っています。自分の名前や「ありがとう」などよく使うフレーズをきれいに書けるようになると、目を輝かせて喜んでくれるのがうれしい。今後はより活動範囲を広げていきたいです。

